

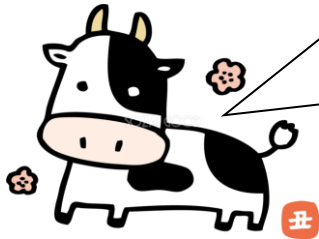


支援は御「縁」から「始」まります。私たち4人の支援専門員が「縁」あって支援をさせていただくことから「支援→始縁だより」と名づけました。

始縁だより

発行 令和2年 年末号

令和2年、お世話になりました。来年もよろしくお祈りします。



今年は感染予防のためにたくさんの方のことを我慢して過ごしました。今まで普通にしてきたことに注意が必要となり、生活が一変した年でした。コロナ感染症が広がり始めて1年。これからどうなっていくのか先が見えない長期戦に、疲れとややあきらめの気持ちが出てきている自分を感じます。マスク、手洗いなど、自分にできることは小さなことですが、その努力が大きな結果となって来年は笑って過ごせる年になるといいなと願っています。

小田原 恵子

私の2020年は、子育てと仕事に全力投球の1年でした。2歳児の成長の早さを見ていると自分の成長のなさを痛感したりもしますが、まだまだ自分も伸び盛りと自分を励まして日々勉強と反省の繰り返しです。来年1月末から産休をとらせて頂くことになりました。利用者の皆様にはケアマネの交代等でご迷惑をかけることもあるかと思いますが、変わらない支援が続けられるよう引継ぎをまいります。育休ののちにはまた戻ってきますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

矢田 智美



令和2年もあっという間に過ぎ、私の1年もわかきの桜に移動したり支援センターに帰って来たりと目まぐるしい年でした。利用者の皆様にはご不便とご心配をかけ申し訳ございませんでした。しかし帰って来た時に暖かく迎え入れていただき、利用者の皆様には大変ありがたく思っています。さて来年干支の丑は昔から生活には欠かせない動物として、家族のパートナーであったと言われていました。私たちケアマネージャーも皆様の生活のパートナーとして、令和3年も寄り添って皆様を支えていけたら有難いと思います。また丑は力強さの象徴で、粘り強さと誠実さを表すものとされています。新しい年はコロナにも負けず粘り強く、皆様に寄り添いご支援を続けていきたいと思っています。まだまだ油断せず、感染せず、持ち込まず、新しい年をお迎えください。 北添 浩史

今年はコロナ感染症により自粛の1年となりました。この状態がいつまで続くのかも分からない状況です、利用者の皆様も遠方のご家族と会えなかったり何かと窮屈な思いをされたと思います。

私事ですが今年は孫が1人増えました、残念ながらまだ会う事は出来ません、早くコロナが落ち着いて会いにいきたく思います。

丑には神様に近いイメージがあると言われます。2021年は丑年。神に近いとされる丑が干支ならば、きっと良い年になる事を期待しましょう。

畑山 美喜

